

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21年2月28日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 1 5 0 2 5 2 0
法人名	特定非営利活動法人 日本地域福祉協会
事業所名	街かどケアホーム ほのか
所在地	広島県福山市沖野上町5丁目6 - 11 (電 話) 084 - 921 - 6240
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成21年2月24日

【情報提供票より】(21年 2月 23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 2月 28日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	13 人 常勤 12人, 非常勤 1人, 常勤換算 9.7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	3階建ての	2階 ~	3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	56,000 円	その他の経費(月額)	33,000 円	
敷 金	有(円) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000 円) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	有りの場合 償却の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(2月 23日現在)

利用者人数	17名	男性	6名	女性	11名
要介護1	6名	要介護2	4名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	1名		
年齢	平均 87.2歳	最低	74歳	最高	100歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	いぐちクリニック(内科) 平田歯科
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

街かどケアホームほのかとは、去年、社団法人となった日本地域福祉協会グループに属していて、ホームの立地もよく、利便性がある。若い施設長を中心に、入居者本位に物事が進められ、よりよい環境づくりを構築されている。又、特に職員のスキルアップには、力を入れ法人内外で研修があり、よりよいサービスを提供することを目指されているホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	申し送りをよりスムーズに的確に伝達することを検討され、より見やすい様式に変えられた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	法人理念にホスピタリティの精神(思いやり、親切心、心からのおもてなし)を取り入れることが加わった。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議において2ヶ月に1回、現状報告をして家族の方や地元の方の意見や苦情を受け入れながら取り組まれている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	年1回、夏まつりには家族の半数近くの方が来られ一緒に参加することで親近感を持ってもらい、より身近に感じてもらった。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	介護相談会を開催して地域の方から喜ばれている。一階の地域交流スペースを老人会で自由に使用され、活用されている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた場所で住み慣れた人々と自分らしい普通の生活を送る等、他に5項目を掲げ利用者の要望や願望を先読みし、真のニーズに応える。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	就職時に理念研修があり、職員全員に浸透している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、地域の清掃活動にも参加し、交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価を通して個人個人が考え評価をして改善に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に町内会長、民生委員、入居者の家族、包括支援センター職員、管理者等が集まりやすい平日の昼間に開催しており、現状報告や意見交換等を活発に行なっている。		

街かどケアホーム ほのか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険課等へ困難事例等をその都度連絡し、連携している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会に来られた時には家族の方へ近況を報告したり、遠方の方は電話又は手紙にて報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の中で、気軽に相談、苦情が言える雰囲気があり、記録もされている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員が支援できるよう、出来るだけ職員配置等に配慮をしている。		JAWAグループ内で職員の異動があるため、家族の方には連絡し、入居者一人ひとりには声かけをしながら、時間を共有している。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で新人研修、現任研修、役職者研修があり、自己研鑽されサービスの質の向上を目指されている。		法人全体であるJAWAグループの取り組みとして、グリーンカードを作り「ありがとう」という気持ちを伝えるシステムがある。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	沖野上地区の包括支援センターが主催して月1回、勉強会、意見交換等があり、交流することで意識向上を目指している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に電話や訪問にて話し合い、納得して入居を決めておられる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ホームの理念の中に「高齢者の経験と知識に対して、常に尊敬と敬意の念をもって接すると共に教えて頂くという姿勢を忘れない」があり実行している。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>意思表示が難しい方であっても日頃の表情や行動に留意して、本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>カンファレンスに看護師も含め、皆で検討して、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居後1ヶ月までに作成し、その後6ヶ月毎に見直しをしている。変化があった場合は、その都度見直している。</p>		

街かどケアホーム ほのか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の状況や要望に応じて通院介助やドライブ等、柔軟に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医への受診や往診に対応している。又、協力医に関しても24時間の連絡体制があり、並びに個々人のかかりつけ医も同様に24時間の連絡体制がある。日頃から信頼関係を構築している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看護師を採用し、医療連携体制も整っている。終末期については高齢の入居者も多くなり、本人や家族と医師と話し合いをして、方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いについてはスタッフも度重ねて研修を行っており、ケース記録の入った書棚は昼間でも鍵をかけて管理している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自己決定する場が多々あり、入居者一人ひとりのペースを大切にその人らしい暮らしを支援している。		

街かどケアホーム ほのか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日頃は外部より食材を取り寄せるが、入居者の希望があった時や誕生日や季節の行事などに入居者の好みを入れ、食事を提供している。		食事は入居者にとって楽しみの一つであるので、雰囲気づくりも大切である(音楽や会話等)
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望する時間に入浴できる。入浴回数が少ない入居者には声かけ等、工夫して入浴してもらう。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれ本人の能力に合った役割(食器洗い、洗濯干し、洗濯たたみ)楽しみ、気晴らし(草取り)の支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に合わせて、散歩、ドライブ、外食、買い物等に出掛ける支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵は掛けない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、避難訓練を実施している。日昼想定、夜間想定と行なっている。		

街かどケアホーム ほのか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の状態に合わせ食べたい時に食べたい物を摂取されている。		安全面、清潔に心掛けるよう期待しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者にとって気持ちよく過ごしてもらえる様に家具の配置等を工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には自宅で使用していたものが持ち込まれている。		